

会社名: (有)ホリケン		承認	承認	承認	承認	承認	承認
第89回 (有)ホリケン 安全協議会・勉強会 議事録							
実施年月日	令和元年11月2日	進行者(責任者)			堀 峰也		
時 間	18:00~19:00	議事録作成者			藤井 恭平		
場 所	ホリケン本社	出席者			別紙参照		
1、勉強会挨拶		【5分】 ●(有)ホリケン 堀 峰也		3、自然災害前後の対応		【30分】 ●(有)ホリケン 野口 辰成	
2、個人情報漏えい対策		【20分】 ●(有)ホリケン 野口 辰成		【5つの班に分かれグループワーク実施後班ごとに発表】			
【資料及び口頭にて以下の内容を注意喚起】		1.可能な限り架設等の解体または撤去。					
1.個人情報存在する個人に関する情報であって、特定の個人を識別することができる。		2.飛散、風散養生の徹底。					
2.他の情報と容易に照合でき、それによって特定の個人を特定することができる。		3.自然災害後は給油が困難になる可能性があるので事前に給油しておく。					
3.文字だけでなく、画像や音声も含まれる。		4.自然災害の予報次第、担当物件へ対策等の連絡を行う。					
4.常務上知りえた個人情報は信頼できる友人であっても話してはならない。		5.自然災害後は対策として解体または撤去した架設等を直ちに復旧する。					
5.個人情報が含まれる資料のコピーやファックス、プリントアウトは慎重に行う。		6.自然災害後は直ちに被害状況の確認を行う。					
6.やむおえず業務上の理由で個人情報を自宅へ持ち帰る場合は、車に置き去りにしないこと。		※事例にて台風の接近に伴い足場のシートを外したが、台風後の復旧が遅れてしまい					
7.いつも「誰かが見ている」「誰かに見られている」という意識を持つこと。		作業中にボルトを落として第三者に当たりそうになるような事例がありました。					
【情報漏えい事故事例を紹介】		災害しないための準備も大事ですが、その後の対応も迅速に行うことで					
1.漏えい事故には個人の情報の管理ミスや誤操作、不正アクセスや紛失・置き忘れがある。		2次災害の危険性を防ぐことができます。					
2.漏えい原因は日々個人情報を扱う人による不注意がある。		【各班ごとに令和元年9月~10月に到来した台風被害を報告】					
3.漏えい原因は紙媒体やインターネット、電子メールがあり47%は紙媒体で発生している。		1.折板屋根が倒壊、飛散。					
【堀社長より注意喚起】		2.カーポートが倒壊、飛散。					
・昨今は、SNSが広く普及し一個人が簡単に全世界へ簡単に情報を共有できるため、業務関係の		3.飛散物により窓ガラスが破損。					
写真や動画をアップロードすることがないように！		4.台風により倒れた仮囲いが接触しフェンスが破損。					
・個人の免許証、印鑑証明、パスポートなど、個人に関わる書類はメール、FAX、LINEなどで		4、ヒヤリ、ハット報告		【5分】 ●(有)ホリケン 野口 辰成			
絶対に送らないこと！							

参加者氏名は個人情報の為、HP上では非表示にしています

出席者名簿		日時	令和元年11月2日
		実施会社名	(有)ホリケン
代表取締役氏名	堀 峰也	工事担当者氏名	秦 千尋

有限会社 ホリケン

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	

勉強会写真

